

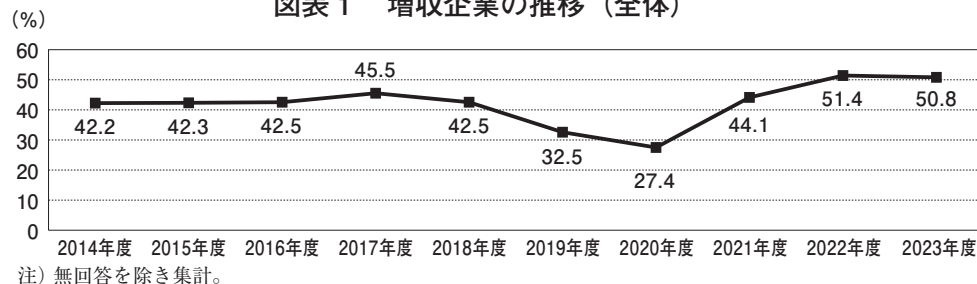
東京都中小企業収益動向調査

－ 2023 年度の収益動向と 2024 年度の収益見通し－

1. 2023年度の売上高の状況

2022年度（令和4年度）と比較した2023年度（令和5年度）の売上高の状況は、増加した企業（以下、「増収企業」という）が50.8%、減少した企業が49.2%となった。前回調査と比べて増収企業の割合は0.6ポイント減少した。

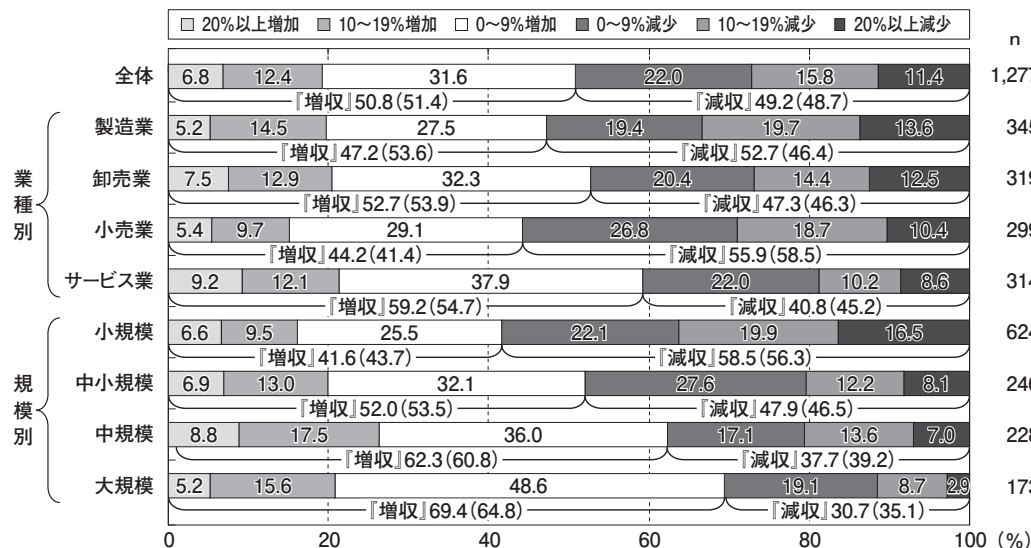
図表1 増収企業の推移（全体）



業種別にみると、前回調査と比べて増収企業は製造業が47.2%（前回調査53.6%）と6.4ポイント減少、卸売業は52.7%（同53.9%）と1.2ポイント減少した。

規模別にみると、規模が大きくなるほど増収企業の割合が高くなり、大規模は69.4%（同64.8%）となった。

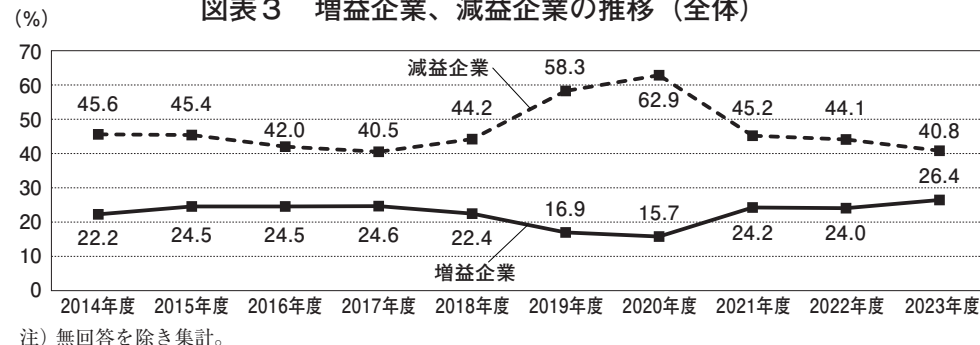
図表2 2023年度の売上高の状況（業種別・規模別）



2. 2023年度の経常利益の状況

2022年度（令和4年度）と比較した2023年度（令和5年度）の経常利益の状況は、増加した企業（以下、「増益企業」という）が26.4%、減少した企業（以下、「減益企業」という）が40.8%となった。前回調査と比べて増益企業の割合は2.4ポイント増加し、減益企業の割合は3.3ポイント減少したが、依然として減益企業が増益企業を上回っている。

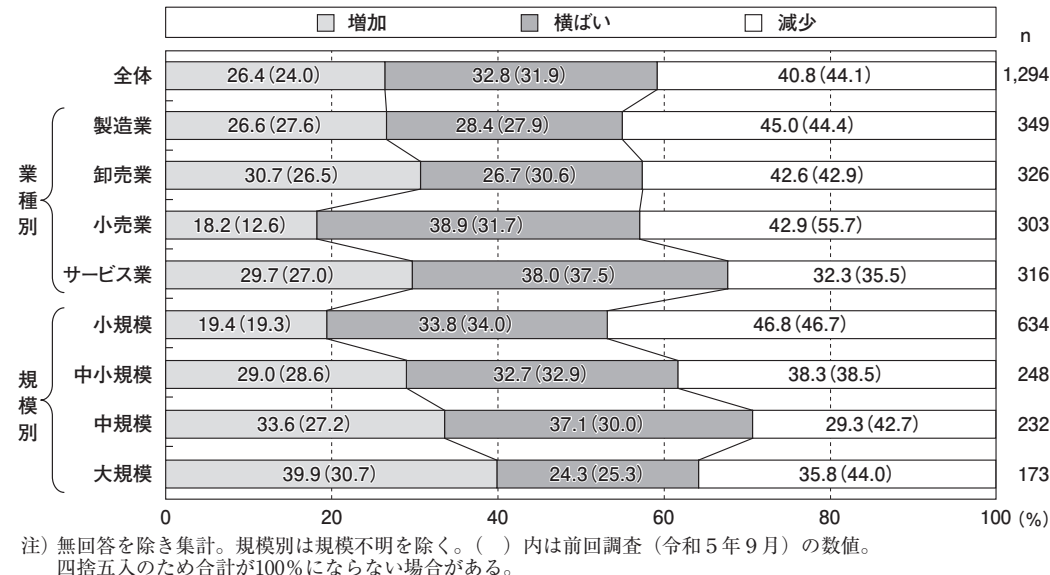
図表3 増益企業、減益企業の推移（全体）



業種別にみると、前回調査と比べて減益企業は小売業が42.9%（前回調査55.7%）と12.8ポイント減少、サービス業は32.3%（同35.5%）と3.2ポイント減少、卸売業は42.6%（同42.9%）と0.3ポイント減少した。一方、製造業は減益企業が45.0%（同44.4%）と0.6ポイント増加した。

規模別にみると、規模が大きくなるほど増益企業の割合が高くなり、大規模は39.9%（同30.7%）となった。

図表4 2023年度の経常利益の状況（業種別・規模別）

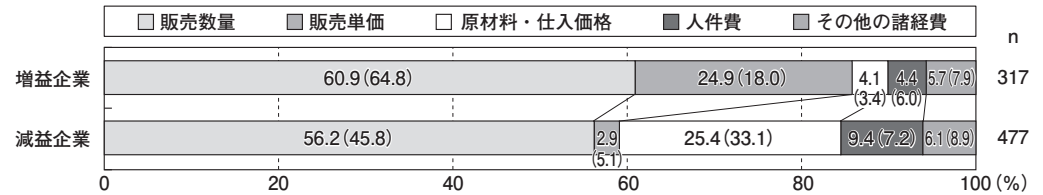


3. 経常利益増減の主な要因

2023年度（令和5年度）の経常利益増減の主な要因を増益企業でみると、「販売数量」が60.9%（前回調査64.8%）と最も高く、次いで「販売単価」が24.9%（同18.0%）となった。前回調査と比べて「販売単価」は6.9ポイント増加した。

また、減益企業でみると、「販売数量」が56.2%（同45.8%）と最も高く、次いで「原材料・仕入価格」が25.4%（同33.1%）となった。前回調査と比べて「販売数量」は10.4ポイント増加した。一方、「原材料・仕入価格」は7.7ポイント減少した。

図表5 増益、減益企業別の経常利益増減の主な要因

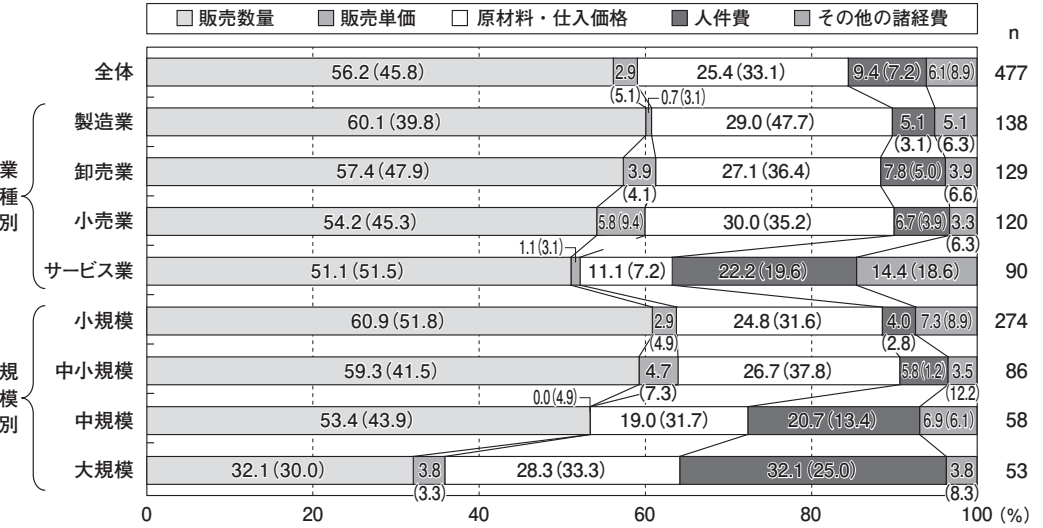


注）無回答を除き集計。（ ）内は前回調査（令和5年9月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

減益企業における経常利益減少の主な要因を業種別にみると、前回調査と比べて製造業、卸売業、小売業は「販売数量」が増加し、なかでも製造業は60.1%（同39.8%）と20.3ポイント増加した。また、他の業種に比べてサービス業の「人件費」は22.2%（同19.6%）と高く、約2割を占める。

規模別にみると、他の規模に比べて大規模の「人件費」は32.1%（同25.0%）と高い。

図表6 経常利益減少の主な要因（業種別・規模別）

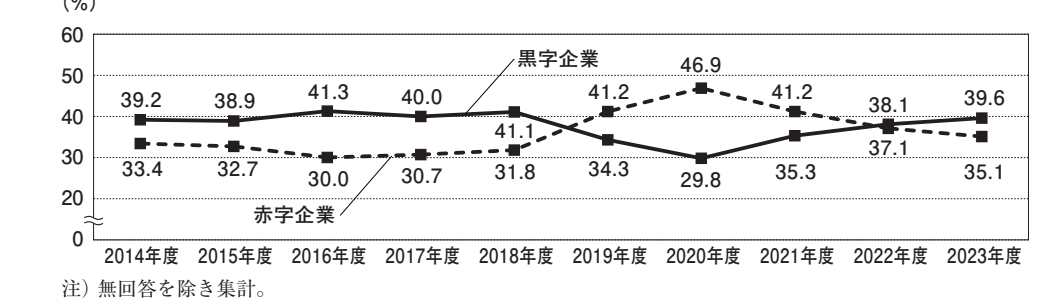


注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。（ ）内は前回調査（令和5年9月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

4. 2023年度の採算状況

2023年度（令和5年度）の採算状況は、黒字企業が39.6%、赤字企業が35.1%となり、黒字企業が赤字企業を上回った。前回調査と比べて黒字企業の割合は1.5ポイント増加し、赤字企業の割合は2.0ポイント減少した。

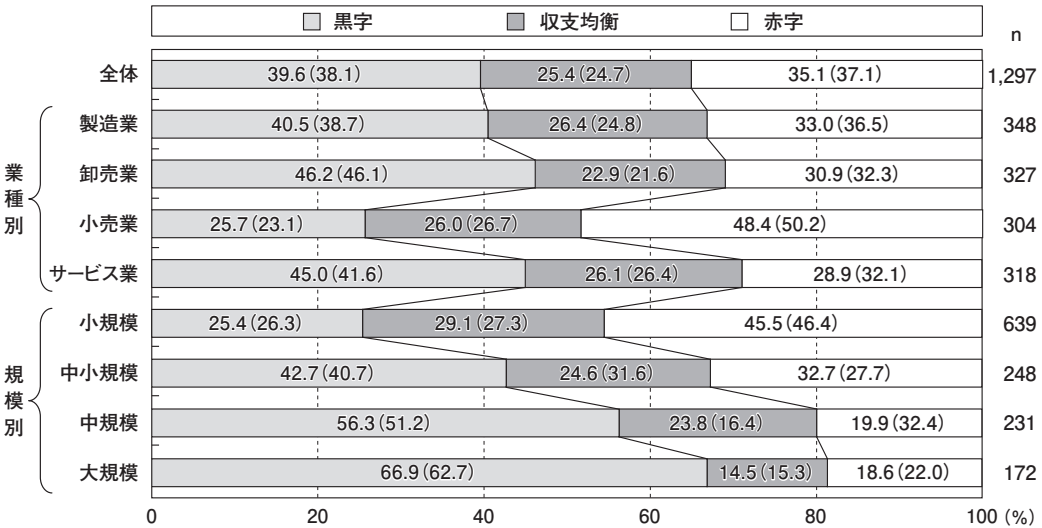
図表7 黒字企業、赤字企業の推移（全体）



業種別にみると、前回調査と比べて全ての業種で「黒字」が増加、「赤字」が減少し採算状況が改善した。なかでもサービス業は「黒字」が45.0%（前回調査41.6%）と3.4ポイント増加し、「赤字」が28.9%（同32.1%）と3.2ポイント減少した。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「黒字」が高くなり、大規模は「黒字」が66.9%（同62.7%）となった。

図表8 2023年度の採算状況（業種別・規模別）

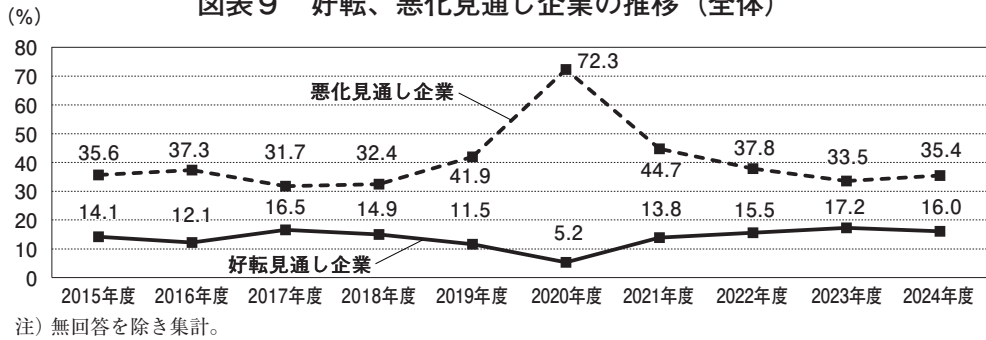


注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。（ ）内は前回調査（令和5年9月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5. 2024年度の収益見通し

2024年度（令和6年度）の収益見通しは、好転見通し企業が 16.0%、悪化見通し企業が 35.4%となった。前回調査と比べて好転見通し企業の割合は 1.2ポイント減少し、悪化見通し企業の割合は 1.9ポイント増加した。

図表9 好転、悪化見通し企業の推移（全体）



業種別に収益見通しをDI値（好転－悪化）でみると、前回調査と比べて製造業、卸売業、小売業は悪化した。なかでも製造業▲23.3（前回調査▲16.5）は 6.8ポイント減少した。

規模別に収益見通しをDI値でみると、前回調査と比べて大規模▲4.7（同1.3）は 6.0ポイント減少、中小規模▲18.6（同▲13.9）は 4.7ポイント減少、小規模▲29.0（同▲24.6）は4.4ポイント減少した。

図表10 2024年度の収益見通し（業種別・規模別）

